

乳腺外科 での

研修について教えてください。

乳癌は女性の癌罹患率1位である。40-60代はもちろん、30代以降の若い世代で診断することがある。40歳以降が対象のマンモグラフィ検診では早期乳癌を見つけることが可能である。

また昨今では有効な薬物療法が増えてきており、薬だけでも効果が期待できる場合がある。

見学・体験・会得できること

- ・なぜ乳癌の診断や治療が必要なのかを考える
- ・乳癌の診断方法としての検査（針生検、MRI、CT、PET）
- ・手術手技（センチネルリンパ節生検、乳房切除術、乳房温存術、腋窩リンパ節郭清）
- ・薬物で治療することの有効性
- ・患者主体の治療選択をサポートする（外来でのIC）



乳腺外科
毛利 亮祐 先生